



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年1月27日

上場会社名 ペガサスミシン製造株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6262 URL https://www.pegasus.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 美馬 成望
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員管理本部副本部長 (氏名) 金子 貴司 (TEL) 06(6451)1351
 四半期報告書提出予定日 2022年2月4日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	14,722	77.4	1,272	604.9	1,312	306.0	1,037	—
2021年3月期第3四半期	8,299	△27.9	180	△21.8	323	44.3	△106	—

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 2,474百万円(—%) 2021年3月期第3四半期 △575百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	41.82	—
2021年3月期第3四半期	△4.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	33,309	24,151	70.3
2021年3月期	29,846	22,061	71.6

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 23,417百万円 2021年3月期 21,381百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
2022年3月期	—	7.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	13.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	61.0	1,600	209.5	1,600	134.6	1,200	69.7	48.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	24,828,600株	2021年3月期	24,828,600株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	17,976株	2021年3月期	17,976株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	24,810,624株	2021年3月期3Q	24,810,656株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

四半期決算補足説明資料は、2022年2月7日(月)に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、先進国を中心とした積極的な財政金融政策による景気の下支え及び新型コロナウイルスワクチンの接種が進んだことによる経済活動の再開により、急速な回復が続く一方、半導体の供給不足による生産の停滞及びコンテナ不足による輸送遅延等が経済活動の下押し圧力となりました。

当社企業グループの主力事業である工業用ミシン業界におきましては、設備投資の需要は強いものの、世界的な物流の混乱により、輸送遅延及び運送費高騰の影響を受けております。

ダイカスト部品事業におきましては、旺盛な自動車需要に対して、半導体などの部品の供給不足による生産遅延に加えて、原材料価格の上昇などもあり、不安定な状況が続いております。

このような環境のもとで、当第3四半期連結累計期間の売上高は147億22百万円（前年同四半期比77.4%増）、営業利益は12億72百万円（前年同四半期比604.9%増）となりました。経常利益は13億12百万円（前年同四半期比306.0%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億37百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失1億6百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

（工業用ミシン）

工業用ミシンにつきましては、世界的なアパレル需要の回復により、縫製工場の設備投資が活発になってきたことで、売上高は118億31百万円（前年同四半期比82.7%増）、セグメント利益は19億42百万円（前年同四半期比116.1%増）となりました。

（ダイカスト部品）

ダイカスト部品につきましては、半導体不足による自動車生産の停止及び遅延の影響を受けましたが、販路拡大に向けた販売活動の強化により、売上高は28億90百万円（前年同四半期比58.4%増）、セグメント利益は1億54百万円（前年同四半期比142.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて26億99百万円増加し、239億57百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が14億77百万円、現金及び預金が8億50百万円、原材料及び貯蔵品が2億95百万円、仕掛品が2億6百万円それぞれ増加し、商品及び製品が1億94百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて7億63百万円増加し、93億51百万円となりました。これは、有形固定資産が6億8百万円、投資その他の資産1億34百万円それぞれ増加したことなどによります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて34億63百万円増加し、333億9百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて14億79百万円増加し、59億95百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が7億36百万円、短期借入金が3億79百万円、その他が1億89百万円、未払法人税等が1億57百万円それぞれ増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて1億6百万円減少し、31億61百万円となりました。これは、長期借入金2億25百万円減少し、その他が1億30百万円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて13億73百万円増加し、91億57百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて20億89百万円増加し、241億51百万円となりました。これは、為替換算調整勘定が13億38百万円、利益剰余金が6億90百万円それぞれ増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2021年5月14日に公表いたしました連結業績予想及び期末配当予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(2022年1月27日)公表いたしました「2022年3月期通期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,659,115	9,509,710
受取手形及び売掛金	3,619,713	5,096,993
商品及び製品	4,442,859	4,248,060
仕掛品	738,116	944,323
原材料及び貯蔵品	3,453,410	3,749,115
その他	357,668	446,753
貸倒引当金	△13,082	△37,269
流動資産合計	21,257,801	23,957,687
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,675,393	4,990,995
その他（純額）	2,943,484	3,236,460
有形固定資産合計	7,618,878	8,227,455
無形固定資産		
	505,654	526,205
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	149,517	159,909
その他	314,235	437,895
投資その他の資産合計	463,753	597,805
固定資産合計	8,588,285	9,351,466
資産合計	29,846,087	33,309,153
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,115,489	1,851,952
短期借入金	2,103,670	2,483,435
未払法人税等	52,829	209,867
賞与引当金	127,129	143,616
その他	1,117,371	1,306,964
流動負債合計	4,516,490	5,995,836
固定負債		
長期借入金	1,888,745	1,663,318
退職給付に係る負債	528,847	517,465
その他	850,061	980,730
固定負債合計	3,267,654	3,161,513
負債合計	7,784,144	9,157,350

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,255,553	2,255,553
資本剰余金	2,983,084	2,988,857
利益剰余金	15,703,763	16,393,976
自己株式	△5,365	△5,365
株主資本合計	20,937,036	21,633,022
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,512	13,712
為替換算調整勘定	367,086	1,705,500
退職給付に係る調整累計額	64,390	65,064
その他の包括利益累計額合計	443,989	1,784,277
非支配株主持分	680,917	734,503
純資産合計	22,061,942	24,151,803
負債純資産合計	29,846,087	33,309,153

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高	8,299,972	14,722,163
売上原価	5,229,468	9,970,715
売上総利益	3,070,504	4,751,447
販売費及び一般管理費	2,889,950	3,478,759
営業利益	180,553	1,272,687
営業外収益		
受取利息	7,185	6,462
受取配当金	2,571	2,343
為替差益	—	6,410
助成金収入	211,892	48,737
その他	14,266	33,720
営業外収益合計	235,915	97,674
営業外費用		
支払利息	56,418	52,540
為替差損	33,026	—
その他	3,823	5,662
営業外費用合計	93,269	58,202
経常利益	323,199	1,312,159
特別利益		
固定資産売却益	737	11,210
投資有価証券償還益	22,090	—
特別利益合計	22,827	11,210
特別損失		
固定資産売却損	303,174	91
減損損失	—	17,906
特別損失合計	303,174	17,998
税金等調整前四半期純利益	42,852	1,305,372
法人税、住民税及び事業税	81,374	351,951
法人税等調整額	50,693	△120,501
法人税等合計	132,067	231,449
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△89,215	1,073,922
非支配株主に帰属する四半期純利益	17,291	36,359
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△106,506	1,037,562

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△89,215	1,073,922
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,472	1,199
為替換算調整勘定	△487,628	1,398,522
退職給付に係る調整額	13,789	673
その他の包括利益合計	△486,311	1,400,395
四半期包括利益	△575,526	2,474,317
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△579,178	2,377,850
非支配株主に係る四半期包括利益	3,651	96,467

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しております。

なお、収益認識に関する会計基準の適用指針第98項に定める代替的な取扱いを適用し、製品等の国内販売において、出荷時から当該製品等の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響もありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。

なお、これにより四半期連結財務諸表に与える影響はありません。